

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2022 市民／学生応募用紙

<b>自治体提示の地域課題名</b> (注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
<b>チームがつけたアイデア名 (公開)</b> (注2)	- (事務局用)	「室蘭が好き。」を増やして、みんなで住み続けたいマチを創る	室蘭
かんたんむろらんハザードマップ			

(注1) 地域課題名は、COG2022 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

### 1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

<b>チーム名 (公開)</b>	オフィシャル室男		
<b>チーム属性 (公開)</b>	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	<b>3</b>	
<b>メンバー数 (公開)</b>	6名		
<b>代表者 (公開)</b>	小柳 大地		
<b>メンバー (公開)</b>	一ノ瀬 椋、木全 智也、中出 雄翔、長崎 孝太、長谷地 貴文		

#### **【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

- 応募の際は、ファイル名を COG2022\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2022 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin\_cog2022@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

- アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
- 公開条件について：
 

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
- 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません)
- この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイザーの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

- 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様でお願いします。
- 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

**アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認**

○

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたい、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください>

交通や防災において必要な情報を冊子ではなく web から見られるようにする。

<この課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます> <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です>

私たちは災害の事前対策用のハザードマップとは別に、災害時に特化したハザードマップを企画・作成する。

現状、室蘭市のハザードマップは災害の事前対策として良く機能しているが、番市民が必要としている災害が起こったときに機能しにくいものではないかと考える。実際に、室蘭市のハザードマップは基本的に冊子で作成されていて持ち運びしづらく、web 上に掲載されているハザードマップも冊子に準拠したものとなっている。したがって、現在地表示や最適な経路表示などの直感的に使える便利な機能がなく、災害時に適切な対応をとるために従来のハザードマップを利用したとしても、限られた時間の中で対応策を講じるのに適したものではないということが挙げられる。

pdf で作成された市のハザードマップでは地図が分割表示されている。また、すべての情報が一括で表示されているため、欲しい情報のみを得ることができない。さらに、google map ではなく国土地理院の地図に似ているため、市民があまり見慣れていないものとなっている。私たちが提案する新しいハザードマップは web アプリケーションで作成しており、地図が画面全体に一括で表示される。加えて、私たちのハザードマップでは地図上に危険予測区域を表示しているが、チェックボックス機能によって起きている災害の内容に応じて自分の知りたい情報を絞り込める機能がある。したがって、本提案によって見やすさが格段に上がると考えられる。

想定される状況

誰が：室蘭市民が

いつ：災害が起きたときに

どこで：web 上で

どのように：現在地や危険予測区域から避難経路を割り出すために使う

(例)

Aさん

- ・買い物中
- ・徒歩
- ・室蘭の地理に疎い
- ・紙のハザードマップを持ち歩いていない

状況

- ・地震発生
- ・それに伴い津波発生
- ・避難場所が分からない

アプリの活用方法

- ・webで本サイトを検索
- ・位置情報を元に現在地が安全か確認
- ・マップピンを元に避難場所と経路を確認し、避難を開始する

## 2. アイデアの説明（公開）

## (2) アイデアの理由（公開）

### (2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」というアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかを上記のデータを示しつつ書いていきます>

2021 年に国土交通省が行った水害ハザードマップに関する Web アンケートの調査結果\*<sup>1</sup>によると、日本全国で自分の住んでいる市区町村の水害に関するハザードマップを見たことがあるかという調査の結果、見たことがないと回答した人が 3 割にも上るといった結果が出た。また、見たことがないと回答した理由として、どこで見たらいいかわからない、見方がよくわからない、見るのが面倒くさいなどといったものが複数挙げられた。

したがって、普段から使う地図アプリでハザードマップを見ることができるようになることで、これらの問題を解決することができる考えた。

\*1 国土交通省 洪水ハザードマップに関する Web アンケート調査結果

[https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai\\_blog/universal\\_design/pdf/sankousiryoku1.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/universal_design/pdf/sankousiryoku1.pdf)



### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず>

<以下のように分けて書いていきます>

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

#### 1. 室蘭市

2. ヒト:アプリ開発のノウハウがある人、モノ:Web アプリの機能を実装するための機器、カネ:市が支出

3. 私たちがプロトタイプを作成し、市から評価を受ける。その結果から、市にこの Web アプリの開発・運用を行ってもらうことで実現を可能にする。また、私たちの技術力では実装しきれなかったアイデアについても市に提供することで実装してもらうことも考慮に入れている。

